

徳川林政史研究所蔵 尾張徳川家文書目録(四)

凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」～「尾八」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」～「尾四」は、昭和一〇年（一九三五）に財団法人尾張徳川黎明会（現在の財団法人徳川黎明会）によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」～「尾八」は、その後当研究所において整理された文書群である。本号では「尾張徳川家文書目録」（四）として、「尾二」の文書群のうち、史料番号一～九六までを収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、「尾二」～「尾八」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 本号から収録した「尾二」の文書群は、尾張藩御小納戸の職務記録である「御小納戸日記」で構成されており、原則として、藩主が在府の場合には、「江戸御小納戸日記」「尾州御留守日記」、在国の場合は、「尾州御小納戸日記」「江戸御留守日記」が、それぞれ作成された。本号の目録では「尾州御小納戸日記」（御在国日記）、および「尾州御留守日記」（御留守御小納戸日記）の分を収録した。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④作成者、⑤形態・数量、⑥備考の六項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用したか、一部については、以前に当研究所において付された

番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を（ ）付きで直後に示した。なお、内題と外題が同じ場合には、（ ）の表記は省略した。

また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必要に応じて表題の直後に（ ）付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、（ ）を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、おおよその作成年代がわかる場合には（安政年間）、（江戸末期）、（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」、「縦・小」などと表記した（ただし、本号収録分はすべて縦帳である）。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など、必要と思われる事柄を＊印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・作成者・形態・備考（冒頭に＊を付した）の

順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場合には、省略して表記している。

一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録掲載に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。内容調査、データ入力、および原稿化作業は、白根孝胤が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

代	諱	生没年月日	藩主就任期間	諡号 院号	実父 生母	正室(簾中) 継室
1	義直	慶長五年一月二八日 慶安三年五月七日	慶長一二年閏四月二六日 慶安三年五月七日	敬公 院号	徳川家康 御亀(相應院)	春姫(高原院、浅野幸長女)
2	光友	寛永二年七月二九日 元禄一三年一〇月一六日	慶安三年六月二八日 元禄六年四月二五日(隠居)	正公 瑞龍院	義直 尉(歎喜院)	千代姫(靈仙院、徳川家光女)
3	綱誠	慶安五年八月二日 元禄一二年六月五日	元禄六年四月二五日 元禄一二年六月五日	誠公 泰心院	光友 千代姫(靈仙院)	新君(瑩珠院、広幡忠幸女)
4	吉通	元禄二年九月一七日 正徳三年七月二六日	元禄一二年七月一日 正徳三年七月二六日	立公 円覚院	綱誠 下総(本寿院)	輔君(瑞祥院、九条輔実女)
5	五郎太	宝永八年一月九日 正徳三年一〇月一八日	正徳三年八月二九日 正徳三年一〇月一八日	達公 真嚴院	吉通 輔君(瑞祥院)	安己君(光雲院、近衛家熙女)
6	継友	元禄五年二月八日 享保一五年一月二七日	正徳三年十一月一日 享保一五年一月二七日	曜公 晃禪院	綱誠 和泉(泉光院)	
7	宗春	元禄九年一〇月二六日 明和元年一〇月八日	享保一五年一月二八日 元文四年一月一三日(隠居)	逞公 章善院	梅津(宣揚院)	
8	宗勝	宝永二年六月二日 宝暦一一年六月二四日	元文四年一月一三日 宝暦一一年六月二四日	戴公 賢隆院	松平友著 繁(円珠院)	三姫(宝蓮院、徳川吉通女)
9	宗睦	享保一八年九月二〇日 寛政一一年一二月二四日	宝暦一一年八月五日 寛政一一年一二月二四日	明公 天祥院	宗勝 嘉代(英嚴院)	好君(転陵院、近衛家久女)
10	齐朝	寛政五年八月二三日 嘉永三年五月一三日	寛政一二年一月二九日 文政一〇年八月一五日(隠居)	順公 天慈院	一橋治国 彰君(乘蓮院)	淑姫(清湛院、徳川家斉女)
11	齐温	文政二年五月二九日 天保一〇年三月二六日	文政一〇年八月一五日 天保一〇年三月二六日	僖公 良恭院	徳川家斉 瑠璃(青蓮院)	愛姫(琮樹院、田安斉匡女)
12	齐莊	文化七年六月一三日 弘化二年七月二〇日	天保一〇年三月二六日 弘化二年七月二〇日	懿公 大覚院	徳川家斉 蝶(速成院)	福君(俊恭院、鷹司政熙女)
13	慶臧	天保七年六月一五日 嘉永二年五月七日	弘化二年八月二六日 嘉永二年五月七日	欽公 顯曜院	田安斉匡 れい(青松院)	猶姫(貞慎院、田安斉匡女)
14	慶勝	文政七年三月一五日 明治一六年八月一日	嘉永二年六月四日 安政五年七月五日(隠居)	文公 賢徳院	松平義建 規姫(貞證院)	矩姫(貞徳院、丹羽長富女)
15	茂徳	天保二年五月二日 明治一七年三月六日	安政五年七月五日 文久三年九月一三日(隠居)	顯樹院	松平義建 みさを(陽清院)	政姫(崇松院、丹羽長富女)
16	義宜	安政五年五月二日 明治八年一二月二四日	文久三年九月一三日 明治八年一二月二四日	靖公 隆徳院	慶勝 多満(禎正院)	

※「御家御統帳」「御日記」「御記録」(徳川林政史研究所蔵)、「尾張徳川家系譜」(『名古屋叢書三編』第一卷)より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。なお、十六代義宜は当主であつた期間を記す(明治二年より名古屋藩知事)。

番号表題

年月日

作成者

尾三十一〔尾州御小納戸日記〕

(元文四年五月四日～同五年三月三日)

(御小納戸)

縦 形態・数量
二

第一冊 尾州御小納戸日記(一)

(元文四年五月四日～一〇月三〇日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。「徳川家」の貼紙あり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕

(元文四年十一月朔日～同五年三月三日)

(御小納戸)

尾三十二〔尾州御留守日記〕

(元文五年三月三日～寛保元年四月二三日)

御小納戸

縦 三

第一冊 尾州御留守日記(一)

(元文五年三月三日～六月晦日)

御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

(元文五年七月朔日～一〇月晦日)

(御小納戸)

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

(元文五年十一月朔日～寛保元年四月二三日)

(御小納戸)

※二月に寛保改元。

尾三十三〔尾州御小納戸日記〕

(寛保元年四月二三日～同二年三月三日)

(御小納戸)

縦 三

第一冊 尾州御小納戸日記(一)

(寛保元年四月二三日～八月晦日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕

(寛保元年九月朔日～一二月二九日)

(御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕

(寛保二年正月朔日～三月三日)

(御小納戸)

※〔御参宮之留〕〔伊勢参宮之留〕あり。

尾三十四〔尾州御留守日記〕

(寛保二年三月三日～延享元年四月一六日)

御小納戸

縦 四

第一冊 尾州御留守日記(一)

(寛保二年三月三日～同三年四月九日)

御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

(寛保三年四月朔日～七月二九日)

(御小納戸)

※四月より在国。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

(寛保三年八月朔日～一二月二九日)

(御小納戸)

第四冊 〔尾州御留守日記四〕

(寛保四年正月朔日～延享元年四月一六日)

(御小納戸)

※二月に延享改元。延享元年三月より在府。

尾三十五〔尾州御小納戸日記〕

(延享二年四月一六日～同三年三月朔日)

(御小納戸)

縦 四

第一冊 尾州御小納戸日記(一)

(延享二年四月一六日～六月二九日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（延享二年七月朔日～一〇月二九日）（御小納戸）
第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（延享二年十一月朔日～閏二月二九日）（御小納戸）
第四冊〔尾州御小納戸日記四〕（延享三年正月朔日～三月朔日）（御小納戸）
尾二六〔尾州御小納戸日記〕（延享四年四月一日～同五年三月二日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（延享四年四月一日～七月朔日）（御小納戸）
※中表紙に「尾州定置」とあり。「鑠之間御休所」図（上使松平日向守尾州罷上候ニ付）の貼付あり。
第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（延享四年七月二日～九月晦日）（御小納戸）
※絵図面の挟み込み一枚あり。

第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（延享四年一〇月朔日～一二月二九日）（御小納戸）
第四冊〔尾州御小納戸日記四〕（延享五年正月朔日～三月二日）（御小納戸）
尾二七〔尾州御小納戸日記〕（寛延二年四月七日～同三年三月二日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（寛延二年四月七日～七月晦日）（御小納戸）
※挟み込まれた書付三通あり。

第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（寛延二年八月朔日～十一月二九日）（御小納戸）
第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（寛延二年十二月朔日～同三年三月二日）（御小納戸）
尾二八〔尾州御留守日記〕（寛延三年三月三日～同四年四月九日）（御小納戸）

第一冊 尾州御留守日記（一）（寛延三年三月三日～六月二九日）（御小納戸）
第二冊〔尾州御留守日記二〕（寛延三年七月朔日～一二月二九日）（御小納戸）
第三冊〔尾州御留守日記三〕（寛延四年正月朔日～四月九日）（御小納戸）

尾二九〔尾州御小納戸日記〕（寛延四年四月一日～宝暦二年三月三日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（寛延四年四月一日～六月二九日）（御小納戸）
第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（寛延四年閏六月朔日～八月晦日）（御小納戸）
第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（寛延四年九月朔日～宝暦元年十一月二九日）（御小納戸）
※一〇月に宝暦改元。
第四冊〔尾州御小納戸日記四〕（宝暦元年一二月朔日～同二年三月三日）（御小納戸）

※挟み込まれた書付三通あり。

番号表題	年月日	作成者	形態・数量
尾二二〔尾州御小納戸日記〕	(宝暦三年四月一九日)同四年閏二月二八日	(御小納戸)	縦 四
第一冊 尾州御小納戸日記(一)	(宝暦三年四月一九日)六月二九日	(御小納戸)	
※中表紙に「尾州定置」とあり。			
第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕	(宝暦三年七月朔日)九月二九日	(御小納戸)	
第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕	(宝暦三年一〇月朔日)二月二九日	(御小納戸)	
第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕	(宝暦四年正月朔日)閏二月二八日	(御小納戸)	
尾二二〔尾州御小納戸日記〕	(宝暦五年四月二二日)同六年三月朔日	(御小納戸)	縦 四
第一冊 尾州御小納戸日記(一)	(宝暦五年四月二二日)六月晦日	(御小納戸)	
第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕	(宝暦五年七月朔日)九月二九日	(御小納戸)	
第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕	(宝暦五年一〇月朔日)二月二九日	(御小納戸)	
第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕	(宝暦六年正月朔日)三月晦日	(御小納戸)	
尾二三〔尾州御小納戸日記〕	(宝暦七年四月一三日)同八年二月二七日	(御小納戸)	縦 五
第一冊 尾州御小納戸日記(一)	(宝暦七年四月一三日)五月二九日	(御小納戸)	
※中表紙に「尾州定置」とあり。			
第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕	(宝暦七年六月朔日)八月晦日	(御小納戸)	
第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕	(宝暦七年九月朔日)一〇月二九日	(御小納戸)	
※括り付けられた文書一通あり。			
第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕	(宝暦七年十一月朔日)二月二九日	(御小納戸)	
第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕	(宝暦八年正月朔日)二月二七日	(御小納戸)	
尾二三〔尾州御留守日記〕	(宝暦八年三月朔日)同一年三月晦日	御小納戸	縦 五
第一冊 尾州御留守日記(一)	(宝暦八年三月朔日)七月二九日	御小納戸	
※中表紙に「徳川家」「古帳簿」の貼紙あり。			
第二冊 〔尾州御留守日記二〕	(宝暦八年八月朔日)同一〇年三月二九日	(御小納戸)	
※宝暦八年九月晦日条の次に「宝暦十辰正月十五日」とあり。以降三月までを記載。貼紙に「自十月九卯四月十三日迄之記脱漏与相見候事 文化十四丑年吟味」とあり。			
第三冊 〔尾州御留守日記三〕	(宝暦一〇年四月朔日)七月二九日	(御小納戸)	

- 第四冊〔尾州御留守日記四〕（宝暦一〇年八月朔日～二月晦日）（御小納戸）
 第五冊〔尾州御留守日記五〕（宝暦一一年正月朔日～三月晦日）（御小納戸）

尾十二四〔尾州御小納戸日記〕（宝暦九年四月一三日～同一〇年正月一四日）（御小納戸）

- 第一冊 尾州御小納戸日記（一）（宝暦九年四月一三日～五月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」とあり。

- 第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（宝暦九年五月晦日～七月晦日）（御小納戸）
 第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（宝暦九年閏七月朔日～八月二九日）（御小納戸）
 第四冊〔尾州御小納戸日記四〕（宝暦九年九月朔日～一〇月二九日）（御小納戸）
 第五冊〔尾州御小納戸日記五〕（宝暦九年十一月朔日～一月晦日）（御小納戸）
 第六冊〔尾州御小納戸日記六〕（宝暦九年二月朔日～同一〇年正月一四日）（御小納戸）

尾十二五〔尾州御留守日記〕（宝暦一一年七月一八日～同一三年四月一五日）御小納戸

- 第一冊 尾州御留守日記（一）（宝暦一一年七月一八日～九月二九日）御小納戸
 第二冊〔尾州御留守日記二〕（宝暦一一年一〇月朔日～同一二年三月二九日）（御小納戸）
 第三冊〔尾州御留守日記三〕（宝暦一二年四月朔日～五月二九日）（御小納戸）
 第四冊〔尾州御留守日記四〕（宝暦一二年六月朔日～一〇月二九日）（御小納戸）
 第五冊〔尾州御留守日記五〕（宝暦一二年十一月朔日～同一三年四月一五日）（御小納戸）

尾十二六〔尾州御小納戸日記〕（宝暦一三年四月一六日～同一四年四月朔日）（御小納戸）

- 第一冊 尾州御小納戸日記（一）（宝暦一三年四月一六日～同一三年六月二九日）（御小納戸）
 ※中表紙に「尾州定置」とあり。「宝暦十三年未四月六日記 宗睦公御入国也」とあり。

- 第二冊〔尾州御小納戸日記二〕（宝暦一三年七月朔日～九月二九日）（御小納戸）
 第三冊〔尾州御小納戸日記三〕（宝暦一三年一〇月朔日～一二月晦日）（御小納戸）
 第四冊〔尾州御小納戸日記四〕（宝暦一四年正月朔日～四月朔日）（御小納戸）

尾十二七〔尾州御留守日記〕（宝暦一四年四月三日～同一二年五月二九日）御小納戸

- 第一冊 尾州御留守日記（一）（宝暦一四年四月三日～明和元年閏一二月晦日）御小納戸

※六月に明和改元。

- 第二冊〔尾州御留守日記二〕（明和二年正月元日～五月二九日）（御小納戸）

番号表題

年月日

作成者

尾二六〔尾州御小納戸日記〕

(明和二年五月晦日～同三年三月二日)

(御小納戸)

形態・数量
縦 六

第一冊 尾州御小納戸日記(二)

(明和二年五月晦日～七月二九日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕

(明和二年八月朔日～九月二九日)

(御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕

(明和二年一〇月朔日～十一月二九日)

(御小納戸)

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕

(明和二年一二月朔日～二月二九日)

(御小納戸)

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕

(明和三年正月朔日～正月晦日)

(御小納戸)

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕

(明和三年二月朔日～三月二日)

(御小納戸)

尾二九〔尾州御留守日記〕

(明和三年三月三日～同四年四月一八日)

御小納戸

縦 四

第一冊 尾州御留守日記(二)

(明和三年三月三日～五月晦日)

御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

(明和三年六月朔日～九月晦日)

(御小納戸)

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

(明和三年一〇月朔日～十二月二九日)

(御小納戸)

※〔御蓮池渡嶋ツナギ絵図〕の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕

(明和四年正月元日～四月一八日)

(御小納戸)

尾二三〔尾州御小納戸日記〕

(明和四年四月一九日～同五年三月三日)

(御小納戸)

縦 七

第一冊 尾州御小納戸日記(二)

(明和四年四月一九日～五月二九日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕

(明和四年六月朔日～七月二九日)

(御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕

(明和四年八月朔日～九月晦日)

(御小納戸)

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕

(明和四年閏九月朔日～一〇月晦日)

(御小納戸)

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕

(明和四年一二月朔日～十二月二九日)

(御小納戸)

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕

(明和四年一二月一五日～同五年正月晦日)

(御小納戸)

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕

(明和五年二月朔日～三月三日)

(御小納戸)

尾二三〔尾州御留守日記〕

(明和五年三月三日～同六年五月二日)

御小納戸

縦 五

第一冊 尾州御留守日記(二)

(明和五年三月三日～四月晦日)

御小納戸

第二冊	〔尾州御留守日記二〕	（明和五年五月朔日～六月二九日）	（御小納戸）
第三冊	〔尾州御留守日記三〕	（明和五年七月朔日～九月二九日）	（御小納戸）
第四冊	〔尾州御留守日記四〕	（明和五年一〇月朔日～同六年正月二九日）	（御小納戸）
第五冊	〔尾州御留守日記五〕	（明和六年二月朔日～五月二日）	（御小納戸）
尾十三 〔尾州御小納戸日記〕		（明和六年五月三日～同七年三月一四日）	（御小納戸）
第一冊	尾州御小納戸日記（一）	（明和六年五月三日～六月二九日）	（御小納戸）
※中表紙に「尾州定置」とあり。			
第二冊	〔尾州御小納戸日記二〕	（明和六年七月朔日～八月晦日）	（御小納戸）
第三冊	〔尾州御小納戸日記三〕	（明和六年九月朔日～九月二九日）	（御小納戸）
第四冊	〔尾州御小納戸日記四〕	（明和六年一〇月朔日～十一月晦日）	（御小納戸）
第五冊	〔尾州御小納戸日記五〕	（明和六年十二月朔日～同七年正月晦日）	（御小納戸）
※五月二二日条から五月二九日条までが正月晦日条の後に記載されている。			

縦
七

第六冊	〔尾州御小納戸日記六〕	（明和七年二月朔日～三月一四日）	（御小納戸）
第七冊	〔尾州御小納戸日記七〕	（明和六年五月～八月）	（御小納戸）
※中表紙に「明和六丑年 御儉約ニ付御側ニ而被仰出并極」とあり。			
尾十三 〔尾州御留守日記〕		（明和七年三月一五日～同八年四月一四日）	御小納戸
第一冊	尾州御留守日記（一）	（明和七年三月一五日～五月二九日）	御小納戸
第二冊	〔尾州御留守日記二〕	（明和七年六月朔日～七月二九日）	（御小納戸）
第三冊	〔尾州御留守日記三〕	（明和七年八月朔日～十一月朔日）	（御小納戸）
第四冊	〔尾州御留守日記四〕	（明和七年十二月朔日～同八年正月二九日）	（御小納戸）
第五冊	〔尾州御留守日記五〕	（明和八年二月朔日～四月一四日）	（御小納戸）

縦
五

尾十二 〔尾州御小納戸日記〕		（明和八年四月一五日～同九年三月二日）	（御小納戸）
第一冊	尾州御小納戸日記（一）	（明和八年四月一五日～五月二九日）	（御小納戸）
※中表紙に「尾州定置」とあり。			
第二冊	〔尾州御小納戸日記二〕	（明和八年六月朔日～七月二九日）	（御小納戸）
第三冊	〔尾州御小納戸日記三〕	（明和八年八月朔日～一〇月二九日）	（御小納戸）
第四冊	〔尾州御小納戸日記四〕	（明和八年十一月朔日～十二月晦日）	（御小納戸）

縦
五

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「明和八卯十一月ヨリ年頭御用調 御用懸 永田一左衛門」あり。

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕 (明和九年正月朔日〜三月二日) (御小納戸)

尾三十五 〔尾州御留守日記〕

(明和九年三月四日〜安永二年閏三月二三日) 御小納戸

第一冊 尾州御留守日記(一) (明和九年三月四日〜五月晦日) 御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (明和九年六月朔日〜八月二九日) (御小納戸)

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (明和九年九月朔日〜安永元年一月二九日) (御小納戸)

※一二月に安永改元

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (安永元年二月朔日〜同二年正月二九日) (御小納戸)

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (安永二年二月朔日〜閏三月三日) (御小納戸)

尾三十六 〔尾州御小納戸日記〕

(安永二年閏三月三日〜同三年三月一〇日) 御小納戸

第一冊 尾州御小納戸日記(一) (安永二年閏三月三日〜六月朔日) (御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」「安永二年巳 御在国」とあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (安永二年六月二日〜八月二九日) (御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (安永二年九月朔日〜一〇月晦日) (御小納戸)

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (安永二年十一月朔日〜二月晦日) (御小納戸)

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕 (安永三年正月朔日〜三月一〇日) (御小納戸)

※正月朔日条の前に「安永三年年頭御用調留 御用懸り 遠藤助左衛門」あり。

尾三十七 〔尾州御小納戸日記〕

(安永四年四月一九日〜同五年二月二九日) (御小納戸)

第一冊 尾州御小納戸日記(一) (安永四年四月一九日〜九月一九日) (御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」「重帳」「安永四年乙未 御在国」とあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (安永四年一〇月朔日〜十二月二九日) (御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (安永四年閏一二月朔日〜同五年二月二九日) (御小納戸)

尾三十六 〔尾州御留守日記〕

(安永五年三月朔日〜同六年四月二九日) 御小納戸

第一冊 尾州御留守日記(一) (安永五年三月朔日〜七月晦日) 御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (安永五年八月朔日〜十二月二九日) (御小納戸)

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (安永六年正月朔日〜四月二九日) (御小納戸)

縦 三

縦 三

縦 五

縦 五

尾十二元〔尾州御小納戸日記〕（安永六年四月二十九日～同七年三月二日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（安永六年四月二十九日～六月二十九日）（御小納戸）

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕（安永六年七月朔日～九月晦日）（御小納戸）

※一 岐阜御成ニ付御道具左之通之寄候」と題した留書あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕（安永六年一〇月朔日～十二月二十九日）（御小納戸）

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕（安永六年一月二十五日～同七年三月二日）（御小納戸）

※年頭御用に関する留書あり。

尾十三〔尾州御留守日記〕（安永七年三月二日～同八年五月四日） 御小納戸

第一冊 尾州御留守日記（一）（安永七年三月二日～六月二十九日） 御小納戸

第二冊 〔尾州御留守日記二〕（安永七年七月朔日～十一月晦日）（御小納戸）

第三冊 〔尾州御留守日記三〕（安永七年十二月朔日～同八年五月四日）（御小納戸）

尾十三〔尾州御小納戸日記〕（安永八年五月四日～同九年二月晦日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（安永八年五月四日～六月二十八日）（御小納戸）

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕（安永八年七月朔日～八月晦日）（御小納戸）

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕（安永八年九月朔日～一〇月晦日）（御小納戸）

※図面一枚（御影御風入之図 志校）の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕（安永八年十一月朔日～十二月二十九日）（御小納戸）

※十二月二十九日の後に、「安永九子年 年頭留年頭御用掛り 野村八郎左衛門 筆役 河村球也」あり。

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕（安永九年正月元日～二月晦日）（御小納戸）

尾十三〔尾州御留守日記〕（安永九年三月朔日～天明元年八月二日）（御小納戸）

第一冊 御小納戸日記〔尾州御留守日記一〕（安永九年三月朔日～六月晦日）（御小納戸）

第二冊 〔尾州御留守日記二〕（安永九年七月朔日～同一〇年二月晦日）（御小納戸）

第三冊 〔尾州御留守日記三〕（安永一〇年三月朔日～天明元年八月二日）（御小納戸）

※四月に天明改元。

尾十三〔尾州御小納戸日記〕（天明三年四月一日～同四年二月二十九日）（御小納戸）

第一冊 尾州御小納戸日記（一）（天明三年四月一日～六月二十九日）（御小納戸）

※〔天明三卯五月十三日上使留〕（御帰国ニ付上使大久保能登守尾州罷上候儀）あり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

- 第二冊 (尾州御小納戸日記二) (天明三年七月朔日～九月晦日) (御小納戸)
- 第三冊 (尾州御小納戸日記三) (天明三年一〇月朔日～十一月晦日) (御小納戸)
- 第四冊 (尾州御小納戸日記四) (天明三年十二月朔日～同四年正月晦日) (御小納戸)
- ※正月晦日条の後に「天明四年辰春年頭留」あり。
- 第五冊 (尾州御小納戸日記五) (天明四年閏正月朔日～二月二九日) (御小納戸)

尾三三 〔尾州御留守日記〕

(天明四年三月朔日～同五年四月五日)

御小納戸

縦 五

- 第一冊 御留守御小納戸日記〔尾州御留守日記一〕 (天明四年三月朔日～五月二九日) (御小納戸)
- 第二冊 (尾州御留守日記二) (天明四年六月朔日～八月二九日) (御小納戸)
- 第三冊 (尾州御留守日記三) (天明四年九月朔日～十一月二九日) (御小納戸)
- 第四冊 (尾州御留守日記四) (天明四年十二月朔日～同五年二月二九日) (御小納戸)
- 第五冊 (尾州御留守日記五) (天明五年三月朔日～四月五日) (御小納戸)

尾三三 〔尾州御小納戸日記〕

(天明五年四月六日～同六年四月二五日)

(御小納戸)

縦 六

- 第一冊 尾州御小納戸日記〔一〕 (天明五年四月六日～四月二九日) (御小納戸)
- 第二冊 (尾州御小納戸日記二) (天明五年五月朔日～五月二九日) (御小納戸)
- 第三冊 (尾州御小納戸日記三) (天明五年六月朔日～八月二九日) (御小納戸)
- 第四冊 (尾州御小納戸日記四) (天明五年九月朔日～十一月二九日) (御小納戸)
- 第五冊 (尾州御小納戸日記五) (天明五年十二月朔日～同六年正月二九日) (御小納戸)
- 第六冊 (尾州御小納戸日記六) (天明六年二月朔日～四月二五日) (御小納戸)

※裏表紙に「尾州定置」とあり。

尾三三 〔尾州御留守日記〕

(天明六年三月九日～同七年三月)

御小納戸

縦 五

- 第一冊 尾州御留守日記〔一〕 (天明六年三月九日～四月晦日) 御小納戸
- 第二冊 (尾州御留守日記二) (天明六年五月朔日～七月二九日) (御小納戸)
- 第三冊 (尾州御留守日記三) (天明六年八月朔日～一〇月晦日) (御小納戸)
- 第四冊 (尾州御留守日記四) (天明六年閏一〇月朔日～十二月晦日) (御小納戸)
- 第五冊 (尾州御留守日記五) (天明六年四月・同七年三月) (御小納戸)

※〔宰相様御入国三付諸達〕(天明六年午四月)、「宰相様御留守境諸達」(天明七年未三月)で構成。宰相様は九代藩主徳川宗睦の養子治行

のこり。

尾十二三〔尾州御留守日記〕

〔天明七年正月朔日〕同七年二月晦日〕

御小納戸

縦

四

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕

〔天明七年正月朔日〕三月二十九日〕

御小納戸

※〔申三月 宰相様御着城ニ付諸行取扱一卷〕あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

〔天明七年四月朔日〕六月二十九日〕

〔御小納戸〕

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

〔天明七年七月朔日〕九月二十九日〕

〔御小納戸〕

第四冊 〔尾州御留守日記四〕

〔天明七年一〇月朔日〕二月晦日〕

〔御小納戸〕

※〔天明七年未正月十九日 高年之輩被下物之留 久世弥市郎取扱〕あり。

尾十二四〔尾州御留守日記〕

〔天明八年正月元日〕二月晦日〕

御小納戸

縦

五

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕

〔天明八年正月元日〕二月二十九日〕

御小納戸

※〔天明八年申正月廿八日 高年之輩被下物之留 富永甚蔵取扱〕あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

〔天明八年三月朔日〕五月晦日〕

〔御小納戸〕

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

〔天明八年六月朔日〕八月晦日〕

〔御小納戸〕

第四冊 〔尾州御留守日記四〕

〔天明八年九月朔日〕一〇月晦日〕

〔御小納戸〕

第五冊 〔尾州御留守日記五〕

〔天明八年十一月朔日〕二月晦日〕

〔御小納戸〕

尾十二五〔尾州御留守日記〕

〔寛政元年正月元日〕二月二十九日〕

〔御小納戸〕

縦

四

第一冊 〔尾州御留守日記一〕

〔寛政元年正月元日〕三月二十九日〕

〔御小納戸〕

※虫損あり。取扱注意。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕

〔寛政元年四月朔日〕閏六月二十九日〕

〔御小納戸〕

※虫損あり。取扱注意。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕

〔寛政元年七月朔日〕九月二日〕

〔御小納戸〕

※〔宰相様御発駕ニ付諸達二月〕〔寛政元年酉九月 殿様御帰国ニ付諸達等留 廿一日御着城也〕〔高年取扱 赤林孫七郎〕あり。殿様は九代藩主徳川宗睦、宰相様は宗睦の養子治行のこと。文書一通〔高年之者江被下品之儀ニ付〕の挟み込みあり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕

〔寛政元年九月晦日〕十二月二十九日〕

〔御小納戸〕

※〔寛政三年亥正月 高年之輩江被下物取扱一卷留 取扱星野七右衛門〕あり。

尾十二四〔尾州御留守日記〕

〔寛政二年正月朔日〕二月晦日〕

御小納戸

縦

四

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第一冊	〔尾州御留守日記〕(一)	(寛政二年正月朔日～三月朔日)	(御小納戸)	
	※巻頭に「寛政二年戊正月 高年之輩江被下物取扱一卷留 取扱一色六左衛門」あり。			
第二冊	〔尾州御留守日記〕(二)	(寛政二年三月朔日～五月二九日)	(御小納戸)	
	※「寛政二戊四月 俊姫様御儀、從姫様御儀御養ひ之儀、御内輪御弘被仰出候付、江戸より申来候趣 尾州取扱竹中彦左衛門」あり。俊姫は九代藩主徳川宗睦の養女(治行の長女)、從姫は治行の正室。			
第三冊	〔尾州御留守日記〕(三)	(寛政二年六月朔日～九月二九日)	(御小納戸)	
第四冊	〔尾州御留守日記〕(四)	(寛政二年九月二日～二月晦日)	(御小納戸)	
尾三十四	〔尾州御留守日記〕	(寛政四年正月朔日～二月晦日)	(御小納戸)	縦 四
第一冊	〔尾州御留守日記〕(一)	(寛政四年正月朔日～三月晦日)	(御小納戸)	
	※「寛政四子年 宰相様御発駕御留守境諸達」「寛政四年子三月 内藤右京亮殿在所江被相越候節御当地江立寄被申候付一卷」「撰津守様御在所江御登爰許御通行之節御城内御座敷向御内々御拝見ニ付取扱一卷 寛政四年子三月」あり。内藤右京亮は三河孝母藩主内藤政陽の智養子で、九代藩主徳川宗睦の一五男政脩のこと。撰津守は高須藩主松平義裕(宗睦養子治行の弟)のこと。			
第二冊	〔尾州御留守日記〕(二)	(寛政四年四月朔日～七月二九日)	(御小納戸)	
第三冊	〔尾州御留守日記〕(三)	(寛政四年八月朔日～二月晦日)	(御小納戸)	
尾三十三	〔尾州御留守日記〕	(寛政五年正月朔日～二月二九日)	(御小納戸)	縦 二
第一冊	御留守御小納戸日記〔尾州御留守日記〕(一)	(寛政五年正月朔日～六月晦日)	(御小納戸)	
	※一部虫損。			
第二冊	〔尾州御留守日記〕(二)	(寛政五年七月朔日～二月二九日)	(御小納戸)	
尾三十二	〔尾州御留守日記〕	(寛政六年正月朔日～二月二九日)	(御小納戸)	縦 二
第一冊	〔尾州御留守日記〕(一)	(寛政六年正月朔日～七月二九日)	(御小納戸)	
第二冊	〔尾州御留守日記〕(二)	(寛政六年八月朔日～二月二九日)	(御小納戸)	
尾三十一	〔尾州御留守日記〕	(寛政七年正月朔日～二月晦日)	(御小納戸)	縦 二
第一冊	御留守御小納戸日記〔尾州御留守日記〕(一)	(寛政七年正月朔日～八月晦日)	(御小納戸)	
	※「教令院様御送葬一卷」あり。教令院は九代藩主徳川宗睦の甥で養子となった勇丸のこと。一部虫損。			
第二冊	〔尾州御留守日記〕(二)	(寛政七年九月朔日～二月晦日)	(御小納戸)	

尾二一 翌 (尾州御留守日記) (寛政八年正月元日、二月晦日) (御小納戸) 縦 二

- 第一冊 御留守御小納戸日記 (尾州御留守日記) (二) (寛政八年正月元日、六月二八日) (御小納戸)
第二冊 (尾州御留守日記) (二) (寛政八年六月二九日、二月晦日) (御小納戸)

尾二一 哭 (尾州御留守日記) (寛政九年正月朔日、二月晦日) (御小納戸) 縦 二

- 第一冊 御留守御小納戸日記 (尾州御留守日記) (二) (寛政九年正月朔日、五月晦日) (御小納戸)
第二冊 (尾州御留守日記) (二) (寛政九年六月朔日、二月晦日) (御小納戸)

尾二一 咈 (尾州御留守日記) (寛政十一年正月朔日、同十二年二月三日) (御小納戸) 縦 二

- 第一冊 御留守御小納戸日記 (尾州御留守日記) (二) (寛政十二年正月朔日、九月二八日) (御小納戸)
第二冊 (尾州御留守日記) (二) (寛政十一年九月二九日、同十二年二月三日) (御小納戸)

※「従是御祠堂一件」あり。

尾二一 哭 (尾州御留守日記) (享和二年正月元日、同三年二月二九日) (御小納戸) 縦 四

- 第一冊 御留守御小納戸日記 (尾州御留守日記) (二) (享和二年正月元日、六月二九日) (御小納戸)
第二冊 (尾州御留守日記) (二) (享和二年七月朔日、二月二九日) (御小納戸)
第三冊 御留守御小納戸日記 (尾州御留守日記) (三) (享和三年正月朔日、七月朔日) (御小納戸)
第四冊 (尾州御留守日記) (四) (享和三年七月二日、二月二九日) (御小納戸)

尾二一 哭 (尾州御留守日記) (文化三年正月朔日、同五年二月二九日) (御小納戸頭取) 縦 五

- 第一冊 御留守日記 (尾州御留守日記) (二) (文化三年正月朔日、六月二九日) (御小納戸)
第二冊 (尾州御留守日記) (二) (文化三年七月朔日、二月二九日) (御小納戸頭取)
第三冊 御留守日記 (尾州御留守日記) (三) (文化四年正月朔日、二月二九日) (御小納戸頭取)
第四冊 御留守日記 (尾州御留守日記) (四) (文化五年正月朔日、六月朔日) (御小納戸頭取)
第五冊 (尾州御留守日記) (五) (文化五年六月二日、二月二九日) (御小納戸頭取)

尾二一 吾 日記 (尾州御留守日記) (文化七年正月朔日、二月晦日) (御小納戸) 縦 一

尾二一 五 (尾州御留守日記) (文化八年正月朔日、二月晦日) (御小納戸頭取) 縦 四

- 第一冊 尾州御留守日記 (二) (文化八年正月朔日、四月二日) (御小納戸頭取)

※四月に一〇代藩主徳川齊朝が、初めて尾張に入国。

- 第二冊 (尾州御留守日記) (二) (文化八年四月一三日、六月四日) (御小納戸頭取)

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「今度下御深井おゐて陶物被仰付候一件」あり。

第三冊 〔尾州御留守日記〕(三) (文化八年六月五日〜八月二九日) (御小納戸頭取)

※「御天守江被為成候一卷」あり。

第四冊 〔尾州御留守日記〕(四) (文化八年九月朔日〜二月晦日) (御小納戸頭取)

※「三ヶ日御能一卷」「定光寺御参詣ニ付御道筋等之御覚書」あり。

尾三 〔尾州御留守日記〕 (文化九年正月朔日〜三月朔日) (御小納戸)

* 図面一枚(明倫堂江出御ニ付帰御之節用人・御小納戸等之配置図)あり。

尾三 〔尾州御小納戸日記〕 (文化一〇年四月一三日〜同一年三月朔日) (御小納戸)

第一冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (文化一〇年四月三日〜六月二八日) (御小納戸)

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (文化一〇年六月二九日〜九月晦日) (御小納戸)

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (文化一〇年一〇月朔日〜二月晦日) (御小納戸)

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (文化一一年正月元日〜三月朔日) (御小納戸)

尾三 〔尾州御留守日記〕 (文化一三年三月二日〜同一年三月二八日) 御小納戸頭取

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記二〕 (文化一三年三月二日〜七月二九日) (御小納戸頭取)

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文化一三年八月朔日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※ 図面一枚(御松明方之輩居屋敷ニ有之候鉄炮矢場大破ニ付、役所御入用を以、御修復井地所御振替)に関する図面の括り付けあり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (文化一四年正月元日〜三月二八日) 尾州御小納戸頭取

※ 図面一枚(下御深井御構垣大朽之辺方深嶋口通之藪垣矢来丸太)図の挟み込みあり。

※「御留守境諸達一卷」あり。裏表紙に「尾州御小納戸頭取」とあり。

尾三 〔尾州御留守日記〕 (文化一四年三月二八日〜十二月二九日) (御小納戸)

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (文化一四年三月二八日〜五月二九日) (御小納戸)

※ 図面一枚(御徒格御小納戸詰箕浦貞助砲術師範仕候付、御筒・諸色相運候付、馬車通行之道筋相開ケ候様仕度奉願候ニ付)の挟み込みあり。

あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文化一四年六月朔日〜八月晦日) (御小納戸)

※「御祭事一卷」(清湛院淑姫御葬送ニ付)「上使一卷」(御帰国ニ付上使室賀山城守参上)「八月四日舞楽一卷」あり。

縦 三

縦 四

縦 一

縦 三

第三冊〔尾州御留守日記三〕（文化一四年九月初日～二月二九日）（御小納戸）

尾二一 癸〔尾州御留守日記〕

（文化一五年正月初朔日～文政二年四月二日）（御小納戸）

第一冊〔尾州御留守日記一〕（文化一五年正月初朔日～三月二日）（御小納戸）

※「寅正月 御囃子一卷」「御留守境諸達一卷」あり。二月一六日条の記事の途中から二月二四日条の記事の途中までが巻末に綴じ込まれている。

第二冊 御留守日記〔尾州御留守日記二〕（文化一五年三月三日～文政元年八月二九日）（御小納戸）

※四月に文政改元。

第三冊〔尾州御留守日記三〕（文政元年九月初日～二月晦日）

※「弁財天外正遷宮一卷」あり。

第四冊〔尾州御留守日記四〕（文政二年正月初朔日～四月二日）

※「御在国境諸達一卷」あり。図面一枚（定光寺・熱田・御宮御霊屋参詣時の御供の行列配置図）の括り付けあり。

尾二一 壬〔尾州御留守日記〕

（文政三年三月朔日～同四年四月朔日） 御小納戸頭取

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕（文政三年三月朔日～八月晦日） 御小納戸頭取

第二冊〔尾州御留守日記二〕（文政三年九月初日～二月晦日）（御小納戸頭取）

第三冊〔尾州御留守日記三〕（文政四年正月初朔日～四月朔日）（御小納戸頭取）

※「御在国境諸達」あり。

尾二一 癸〔尾州御留守日記〕

（文政四年四月初日～同五年閏正月二三日）（御小納戸）

第一冊〔尾州御留守日記一〕（文政四年四月初日～五月晦日）（御小納戸）

・※「細野篠兵衛御側物頭被仰付候付取扱諸達留」「上使一卷」あり。

第二冊〔尾州御留守日記二〕（文政四年六月初日～八月二九日）（御小納戸）

※「御在国中維学心院様五月並御届」あり。維学心院は九代藩主徳川宗睦の養女（高須藩主松平勝當息女）で、左大臣近衛基前の簾中。

第三冊〔尾州御留守日記三〕（文政四年九月初日～一〇月晦日）（御小納戸）

※「巳九月 定光寺御参詣一卷」「御鷹野御延氣之外御近廻り出御被仰出一巻」「御庭菊花御覧一卷 附御年寄衆・御側大寄合・御用人一統拝見之一巻共」あり。

第四冊〔尾州御留守日記四〕（文政四年一月初日～二月晦日）（御小納戸）

第五冊〔尾州御留守日記五〕（文政五年正月初朔日～閏正月二三日）（御小納戸）

※「正月廿三日 御囃子一卷」「御留守境諸達一卷」あり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

尾三十五〔尾州御留守日記〕

(文政五年閏正月二五日～二月晦日)

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記〕(一)

(文政五年閏正月二五日～六月朔日)

御小納戸頭取

※「愛宕社御修復一卷」あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文政五年六月二日～九月晦日)

(御小納戸頭取)

※「六月十五日 御小納戸頭取梶五郎三郎儀御側物頭御小納戸頭取兼就仰付候諸調一卷」あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (文政五年一〇月朔日～二月晦日)

(御小納戸頭取)

※「直七郎様江御礼申上極」「午十月 御小性格加藤善十郎儀鳥射留御免被仰付候一卷」「中納言様江直七郎様月並御届」「直七郎様江中納言様月並御届」あり。中納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。直七郎は將軍家斉の子で文政五年六月に斉朝の養子となった(のち一一代藩主斉温となる)。

尾三十六〔尾州御留守日記〕

(文政六年正月朔日～二月晦日)

(御小納戸)

縦 七

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (文政六年正月朔日～二月一〇日)

(御小納戸)

※「御在国境諸達一卷」あり。二月より一〇代藩主徳川斉朝は在国。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文政六年二月一日～二月二八日)

(御小納戸)

※「一色六左衛門御側物頭就被仰付候諸達一卷」「中野新十郎御小納戸頭取就被仰付諸達等一卷」「二月廿九日 御花見一卷」あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (文政六年三月朔日～三月晦日)

(御小納戸)

※「三月五日 奥田仙右衛門定光寺・建中寺御廟江拝礼願之一卷」「網符一卷 当日御延氣出御被遊為御慰植田山狩場江被為成候事」「木部茂十郎御預同心福嶋御閑所江之御手判一件」「三月 御深井并財天社地稻荷社御修復一卷」「御深井稻荷社御遷宮達書」「御深井稻荷社正遷宮御入用達書」「三月廿三日 追狩一卷」「直七郎様御水痘一卷」「御容体書 召上物御分量并御通書」「直七郎様御水痘ニ付為御尋一色六左衛門罷下候御使一卷」あり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (文政六年四月朔日～五月二九日)

(御小納戸)

※「去年年御鷹匠組頭初御沙汰品取扱一卷」「未四月廿一日 御慰御能一卷」あり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (文政六年六月朔日～七月晦日)

(御小納戸)

※「稻生村安性寺御神事御祈禱於寺内禁足修行中御紋附器物相用候儀御免相成候取扱一卷」あり。

第六冊 〔尾州御留守日記六〕 (文政六年八月朔日～九月晦日)

(御小納戸)

※「定光寺御参詣一卷」あり。

第七冊 〔尾州御留守日記七〕 (文政六年一〇月朔日～十二月晦日)

(御小納戸)

※「菊花御覽留 附拝見共」「直七郎様江御礼差上方之儀ニ付見宮神主より願品一件」あり。虫損あり。取扱注意。

尾三六 御留守日記〔尾州御留守日記〕 (文政七年閏八月二八日～二月晦日) 御小納戸頭取 縦 一

尾三三 〔尾州御留守日記〕 (文政八年正月元日～二月晦日) (御小納戸) 縦 五

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (文政八年正月元日～三月二八日) (御小納戸)
※〔細野篠兵衛転役中野惣右衛門右跡御側物頭被仰付於此表取扱一卷〕〔御祠堂御修復一卷〕〔西春御在国境諸達一卷 奥田仙右衛門〕あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文政八年三月二九日～五月二〇日) (御小納戸)

※〔大道寺新治御側物頭就被仰付候諸取扱留〕〔酉五月六日方上使一卷 取扱梶五郎三郎〕あり。三月より藩主徳川齊朝は在国。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (文政八年五月二日～七月晦日) (御小納戸)

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (文政八年八月朔日～一〇月五日) (御小納戸)

※〔酉九月十九日 定光寺御参詣一卷〕〔酉九月廿三日之記 御華見一卷 附拝見之事とも 取扱矢部彦右衛門〕あり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (文政八年一〇月六日～二月晦日)

尾三三 〔尾州御留守日記〕 (文政九年正月朔日～二月二九日) 御小納戸頭取 縦 五

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (文政九年正月朔日～正月晦日) (御小納戸頭取)

※〔直七郎様御抱瘡一卷留 御小納戸頭取〕〔急御使一卷〕あり。直七郎は一〇代藩主徳川齊朝の養子で、のちの一二代藩主斉温のこと。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文政九年二月朔日～四月二日) (御小納戸頭取)

※〔御在国 文政九年戌二月十二日御小納戸頭取日記綴入下 御広敷御用人御小納戸頭取兼之輩御祝儀申上上方等御年寄衆江申上一巻〕あり。

第三冊 御留守日記〔尾州御留守日記三〕 (文政九年四月三日～八月晦日) 御小納戸頭取

※〔直七郎様御元服御一字御頂戴御官位之御内意被仰出一巻〕あり。四月より藩主徳川齊朝は在府。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (文政九年九月朔日～二月一四日) (御小納戸頭取)

※裏表紙に「尾州定置」とあり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (文政九年十一月一五日～二月二九日) (御小納戸頭取)

※〔文政九年十一月方御在国〕とあり。

尾三六 〔尾州御留守日記〕 (文政一〇年正月朔日～一〇月六日) 御小納戸頭取 縦 四

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (文政一〇年正月朔日～二月二九日) (御小納戸頭取)

※〔江戸表江急御使一卷〕〔橋儀同御違例ニ付〕あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (文政一〇年三月朔日～四月二九日) (御小納戸頭取)

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第三冊

〔尾州御留守日記三〕

(文政一〇年四月晦日～八月一九日)

(御小納戸頭取)

※「梶五郎三郎転役被仰付、帯金喜三郎兼役被仰付諸達一卷」「文政十年亥七月 妙善寺常経願一卷」あり。

第四冊

〔尾州御留守日記四〕

(文政一〇年七月二八日～一〇月六日)

御小納戸頭取

※「文政十亥年八月 御隠居御家督一卷留 御小納戸頭取」のみで構成。

尾一五

〔尾州御留守日記〕

(文政一一年正月元日～二月二九日)

御小納戸頭取

第一冊

御留守日記〔尾州御留守日記一〕

(文政一一年正月元日～七月二九日)

御小納戸頭取

第二冊

〔尾州御留守日記二〕

(文政一一年八月朔日～二月二九日)

(御小納戸頭取)

※「御目見持格御小納戸詰役懸り菊池喜藏、御小納戸詰石川平一郎御咎品一卷」あり。裏表紙に「尾州定置」とあり。

尾一六

〔尾州御留守日記〕

(文政一三年正月朔日～天保元年二月晦日)

(御小納戸)

第一冊

〔尾州御留守日記一〕

(文政一三年正月朔日～閏三月二九日)

(御小納戸)

※「寅正月 御側組同心舟橋市三郎家内江戸引越御手判等一卷」あり。

第二冊

〔尾州御留守日記二〕

(文政一三年四月朔日～七月晦日)

(御小納戸)

第三冊

〔尾州御留守日記三〕

(文政一三年八月朔日～天保元年二月晦日)

(御小納戸)

※「紫雪御製方被仰付候一卷」「一色六左衛門儀妻并娘江戸表江戸呼下一巻」「御側組同心平岩徳次郎召抱一卷 附山口栄吉と組替之一件」あり。二月に天保改元。

尾一七

〔尾州御留守日記〕

(天保二年正月朔日～二月晦日)

御小納戸頭取

第一冊

御留守日記〔尾州御留守日記一〕

(天保二年正月朔日～三月二九日)

御小納戸頭取

※「梶五郎三郎転役被仰付諸達一卷」「卯正月 御小納戸詰格御殺生懸り牧野茂三郎家内引越一卷」「御省略一卷」「飯尾助太郎御側物頭

被仰付候一卷」「天保二卯三月 御側組同心牧野柳三郎母江戸江引越御手判一卷」「卯三月廿六日 御小納戸五味与一儀今度從中納言様

御讓之御具足ニ差添江戸表江籠下等ニ付取扱一卷 取扱大澤斧八」あり。中納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第二冊

〔尾州御留守日記二〕

(天保二年四月朔日～八月九日)

(御小納戸頭取)

※「天保二卯年 御深井弁財天御社稻荷社御修復一卷 御小納戸頭取」「天保二年卯七月 三嶋流船軍火薬習練船水主入用帳 御船手」あり。

第三冊

〔尾州御留守日記三〕

(天保二年八月一〇日～二月晦日)

(御小納戸頭取)

※「卯九月 奥坊主組頭並御用部屋懸り鳥居團弥家内江戸表江引越ニ付御手判等之一巻」あり。

尾一八

〔尾州御留守日記〕

(天保四年正月朔日～二月晦日)

御小納戸頭取

縦

四

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (天保四年正月朔日～四月九日) 御小納戸頭取

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (天保四年四月一〇日～六月二五日) (御小納戸頭取)

※〔已四月 御祭礼ニ付取扱一卷〕「鳴弦藝目之儀ニ付江戸表方問合申越返答等之一件」あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保四年六月二六日～一〇月朔日) (御小納戸頭取)

※〔奥坊主御用部屋懸り若井辰仙家内之者召連引越一卷〕「長屋惣十郎御預御側組同心目付山口栄吉家内之者引越一卷 九月 中野惣右衛門」あり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (天保四年一〇月二日～二月晦日) (御小納戸頭取)

尾三 〔尾州御留守日記〕

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (天保五年正月朔日～二月晦日) 御小納戸頭取

第二冊 御留守日記〔尾州御留守日記二〕 (天保五年正月朔日～三月晦日) 御小納戸頭取

※〔来午 前中納言様御四十式御厄除御深井弁財天おゐて御祈禱取扱方一卷 已十二月〕あり。前中納言様は一〇代藩主徳川齊朝のこ
と(文政一〇年八月に隠居)。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保五年四月朔日～八月晦日) (御小納戸頭取)

※〔愛宕社御修復一卷〕「鈴木孫十郎御側物頭就被仰付候諸達取扱留」あり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (天保五年九月朔日～二月晦日) (御小納戸頭取)

尾三 〔尾州御留守日記〕

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (天保八年正月朔日～二月晦日) 御小納戸頭取

第二冊 御留守日記〔尾州御留守日記二〕 (天保八年正月朔日～四月朔日) 御小納戸頭取

※〔飯沼定右衛門母看病登一卷 酉三月〕「武芸御透見一卷 酉三月」「酉正月 御庭預並御庭御掃除之者頭兼加藤順助家内之者江戸表江引
越ニ付一件」〔天保八年酉三月廿九日 桜井内記御側物頭被仰付御小納戸頭取兼相勤候様ニテ之御事候旨被仰出候取扱一卷〕あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保八年四月二日～八月朔日) (御小納戸頭取)

※〔御祭礼一卷〕あり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (天保八年八月二日～九月二〇日) (御小納戸頭取)

※〔西八月 御官位御昇進被仰出候一卷 御小納戸頭取〕「御官位御昇進御祝一卷」(一代藩主徳川齊温の従二位権大納言昇進)あり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (天保八年九月二一日～二月晦日) (御小納戸頭取)

※〔御徒格以下人数調出一巻 御小納戸頭取〕あり。

尾三 〔尾州御留守日記〕

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (天保九年正月朔日～二月晦日) 御小納戸頭取

第二冊 御留守日記〔尾州御留守日記二〕 (天保九年正月朔日～四月二日) 御小納戸頭取

※〔山腰徳弥御扶持方八重手形一卷〕(山脇徳弥は奥坊主)、「御法令 御透見 読聞 渡り方并順達方且配下向承知為仕方一卷」あり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (天保九年四月三日〜八月三日) (御小納戸頭取)

※〔御祭礼拝見等一卷〕〔戊五月 右大將様御袖留一卷〕あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保九年八月二四日〜二月晦日) (御小納戸頭取)

※〔箕形善左衛門御側物頭被仰付候諸達取扱一卷〕あり。

尾三三 〔尾州御留守日記〕

(天保一〇年正月朔日〜同一年二月) 御小納戸頭取

第一冊 御留守日記 〔尾州御留守日記一〕 (天保一〇年正月朔日〜三月二九日) 御小納戸頭取

※〔奥向之輩初御城中口通行一卷 西十一月〕〔加藤梅次郎家来一卷〕〔恒川了庵地子年貢米納三付一卷〕あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (天保一〇年四月朔日〜六月二九日) (御小納戸頭取)

※〔江戸表之急御使一卷〕〔二代藩主徳川齊荘の家督相続〕あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保一〇年七月朔日〜一〇月晦日) (御小納戸頭取)

※〔俊恭院様御登一卷〕〔御祭礼二卷〕〔亥十月 邦姫様御誕生二卷〕あり。俊恭院は一代藩主徳川齊温の継室福君 邦姫は二代藩主徳川齊荘の息女。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (天保一〇年十一月朔日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※〔亥十一月長坂伝六郎御側物頭被仰付候御小納戸頭取兼相勤候様ニ与之御事候旨被仰出候諸取扱一卷〕〔章善院様御贈官位一卷〕〔前大納言様御位階一卷〕〔御官位御昇進被仰出候一卷〕〔御具足指下方一卷〕あり。章善院様は七代藩主徳川宗春のこと、前大納言様は一〇代藩主徳川齊朝のこと、正二位に昇進。

第五冊 〔尾州御留守日記五 源傳公御逝去一卷上〕 (天保一〇年三月〜四月) (御小納戸頭取)

※源傳公は一代藩主徳川齊温のこと。

第六冊 〔尾州御留守日記六 源傳公御逝去一卷下〕 (天保一〇年四月〜同一年二月) (御小納戸頭取)

尾三三 〔尾州御留守日記〕 (天保一一年正月朔日〜二月三日) (御小納戸頭取)

*〔御待請一卷〕〔二代藩主徳川齊荘の初入国〕あり。

尾三三 〔尾州御留守日記〕 (天保一三年正月朔日〜弘化二年二月) 御小納戸頭取

第一冊 御留守日記 〔尾州御留守日記一〕 (天保一三年正月朔日〜三月一四日) 御小納戸

※〔乗蓮院様御逝去一卷〕〔三輪六郎左衛門江戸表より御使ニ而罷登候一卷〕〔乗蓮院様御容躰ニ付急御使一卷 丑十二月〕〔勝野常庵急御使ニ而罷下一巻〕〔鈴木勘七郎儀江戸表より急御使ニ而罷登候一卷〕〔本多左門江戸表より急御使一卷〕〔御風呂釜口出入一卷〕〔文恭院様御一周忌御法事一卷〕〔小笠原弥十郎於江戸表御側物頭被仰付候諸取扱一卷〕あり。乗蓮院は一〇藩主徳川齊朝の生母、勝野常庵は

縦 六

縦 一

奥御医師格、鈴木勘七郎は御小納戸、本多左門は御小納戸頭取。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (天保一三年三月一五日〜九月三日) (御小納戸頭取)

※「寅二月 御側組同心山口徳次郎組替取扱一卷 御側物頭」「御祭祀拝見一卷」「御小納戸詰格御時計懸山口栄吉母引越一卷」「御側物頭増組同心山口徳次郎家内引越一卷」「源白様五拾回御忌御法事一卷」あり。源白様は九代藩主徳川宗睦の養子治行のこと。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保一三年九月四日〜二月二九日) (御小納戸頭取)

※「寅八月 御側組同心横井鉄八母引越一卷」「寅九月 御側物頭小笠原弥十郎家内引越一卷」「寅八月 御小納戸詰格御時計懸山口栄吉妻等呼下一巻」「俊恭院様三回御忌御法事一卷」「乗蓮院様御一回忌御取越御法事一卷」「出入御中間引揚御庭御掃除之者増入申付候一卷」「前大納言様御五十御年賀御祝被進一卷」あり。俊恭院は一代藩主徳川斉温の継室福君、前大納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (天保一四年正月朔日〜六月二四日) 御小納戸頭取

※「文恭院様三回御忌御法事一卷」「平岩紋左衛門於江戸表小笠原弥十郎跡御側物頭被仰付候取扱一卷」「寅二月 日光山御宮御豫参一卷」「御祭祀拝見一卷」「鬼頭佐吉妻江戸表呼下一巻」あり。凶面一枚(前大納言様御透見ニ付)の括り付けあり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (天保一四年二月二四日〜六月二五日) (御小納戸頭取)

※中表紙に「御帰国取扱一卷」とあり。

第六冊 〔尾州御留守日記六〕 (天保一四年六月〜弘化二年二月) (御小納戸頭取)

※中表紙に「天保十四年卯六月 向御屋敷御厩御取建召合御門内御馬場御築立等一卷」とあり。「御道具帳写」「被下物之部」「御入用之部」の項目あり。

尾三十五 〔尾州御小納戸日記〕

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記一〕 (天保一四年六月二五日〜一二月二九日) 御小納戸頭取 縦 七

※「御誕生一卷」(二代藩主徳川斉荘息女鋤姫の誕生)あり。凶面二枚「梅之御間并御張出御小座敷初御廊下共御掃除之儀懸り御小納戸持」図、「卯七月廿五日市川余所吉門弟槍術御覽御補理方凶面」の括り付けあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (天保一四年八月朔日〜八月晦日) (御小納戸頭取)

※「熱田御社参一卷」「源懷様五拾回御忌御法事一卷」あり。源懷様は九代藩主徳川宗睦の孫(治行長男)五郎太のこと。虫損あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (天保一四年九月朔日〜九月二九日) (御小納戸頭取)

※「上使一卷」「児玉左内儀信州御嶽山江御内々御名代一卷」「岐阜御成一卷」あり。一部に虫損あり。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (天保一四年閏九月朔日〜閏九月晦日) (御小納戸頭取)

※「閏九月 定光寺御参詣一卷 御小納戸頭取」「御本丸御天守御成御多門之御巡覽之一巻」あり。虫損あり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕 (天保一四年一〇月朔日～一〇月二十九日) (御小納戸頭取)

※〔知多郡御巡覧一卷〕〔触之部〕「日記」の項目あり、「御屋形脇騎射馬場において騎射御覧一卷」あり。

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕 (天保一四年一二月朔日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

※〔十一月四日 御屋形於御覧所相撲御覧之一卷〕「卯十一月 児玉左内御嶽山江御名代一卷」「三杜并天王坊長久寺江御名代被仰付候一卷」
〔釧姫様御色直御箸初被整候付御祝一卷〕「天山御成留」あり。虫損あり。

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕 (天保一四年一二月朔日～一二月二十九日) (御小納戸頭取)

※〔寄木高照寺江御成間等被下切一卷〕あり。絵図一枚「大(天)道山高照寺境内惣絵図」の括り付けあり。虫損あり。

尾三六 〔尾州御留守日記〕

(天保一五年正月朔日～弘化元年一二月晦日) (御小納戸頭取)

縦 三

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (天保一五年正月朔日～一二月二十五日) (御小納戸頭取)

※〔御誕生一卷 但即刻御卒去奉称幽香院様〕「熱田御社参一卷 附若宮御参詣共」「天保十五辰年 御留守御用調」あり。幽香院は二代藩主徳川齊莊の息女。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (天保一五年二月二十五日～八月十五日) (御小納戸頭取)

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (天保一五年八月一六日～弘化元年一二月晦日) (御小納戸頭取)

※〔御庭三杜御修復一卷〕「烏犀圓御製葉一卷」あり。一部虫損あり。一二月に弘化改元。

尾三七 〔尾州御留守日記〕

(弘化二年正月朔日～一二月二十九日) (御小納戸頭取)

縦 四

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (弘化二年正月朔日～三月二十九日) (御小納戸頭取)

※〔源傳様七回御忌御法事一卷〕あり。源傳様は二代藩主徳川齊温のこと。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (弘化二年四月朔日～七月二十六日) (御小納戸頭取)

※〔鎰丸様御養君一卷〕あり。鎰丸は田安斉匡の子で二代藩主徳川齊莊の養子となる。のちの三代藩主徳川慶臈。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (弘化二年七月二十七日～九月朔日) (御小納戸頭取)

※大部分は「御謚号源懿様 大納言様御違例并御逝去ニ付取扱一卷」の記事。源懿様は二代藩主徳川齊莊のこと。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (弘化二年九月二日～一二月二十九日) (御小納戸頭取)

※〔御遺領御相統一卷〕「三村清右衛門御側御秘決御筒拝借一卷」「巳十二月 御官位一卷」あり。

尾三六 〔尾州御小納戸日記〕

(弘化三年正月朔日～一二月二十九日) (御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 〔尾州御小納戸日記一〕 (弘化三年正月朔日～六月一〇日) (御小納戸頭取)

※「呂丸様御誕生一卷」「紫雪御製方一卷」「宰相様御任官一卷」あり。呂丸は二三代藩主徳川齊莊の二男で、のちに一橋家を相続。宰相様は二三代藩主徳川慶職のこと。この年、藩主徳川慶職は在府。

第二冊 尾州御小納戸日記二 (弘化三年六月一日〜二月二九日) (御小納戸頭取)

※「源懿様御一周忌御法事一卷」「俊恭院様七回御忌御法事一卷」「紫雪御製方一卷」「奥向之輩為追符修行御林江相越候儀ニ付取扱一卷」あり。源懿様は二三代藩主徳川齊莊のこと。

尾三十一 尾州御留守日記

(弘化四年正月朔日〜二月晦日)

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 御留守日記 尾州御留守日記二 (弘化四年正月朔日〜四月二九日)

御小納戸頭取

※「文恭院様七回御忌御法事一卷」あり。

第二冊 尾州御留守日記二 (弘化四年五月朔日〜九月一日) (御小納戸頭取)

※「呂丸様一橋御家御相統一巻」「源懿様三回御忌御法事一卷」「維学心院様御様躰并御逝去一卷」「呂丸様御様躰并御逝去一卷」「三村清右衛門御側御簡拝借一卷」あり。維学心院は九代藩主徳川宗睦の養女で近衛基前の簾中。書付一通(源懿様御品々建中寺江御納ニ付)の括り付けあり。

第三冊 尾州御留守日記三 (弘化四年九月二日〜二月晦日) (御小納戸頭取)

※「奥表御座敷向等撰津守様御拝見等一卷」あり。撰津守様は分家の高須藩主松平義建のこと。

尾三十二 尾州御留守日記

(弘化五年正月朔日〜嘉永元年二月二九日)

(御小納戸頭取)

縦 三

第一冊 御留守日記 尾州御留守日記二 (弘化五年正月朔日〜嘉永元年四月二六日) 御小納戸頭取

※「撰津守様御城御庭等御拝見一卷」あり。図面一枚(御下屋敷脇広場作事ニ付)の括り付けあり。撰津守様は高須藩主松平義建のこと。二月に嘉永改元。

第二冊 尾州御留守日記二 (嘉永元年四月二七日〜八月二九日) (御小納戸頭取)

※「田安一位様御逝去一卷」あり。田安一位様は田安斉匡(二三代藩主徳川慶職の実父)のこと。

第三冊 尾州御留守日記三 (嘉永元年九月朔日〜二月二九日) (御小納戸頭取)

※「御任官一卷」(二三代藩主徳川慶職の中納言任官)あり。

尾三十三 尾州御留守日記

(嘉永二年正月朔日〜二月晦日)

御小納戸頭取

縦 五

第一冊 御留守日記 尾州御留守日記二 (嘉永二年正月朔日〜五月一〇日) 御小納戸頭取

※「御抱瘡一卷」あり。

第二冊 尾州御留守日記二 (嘉永二年四月〜九月) (御小納戸頭取)

※「源欽様御逝去一卷」「御香奠献備一卷」「上使一卷」あり。源欽様は二三代藩主徳川慶職のこと。日記の条目は五月二一日条のみ。

番 号 表 題

年 月 日

作 成 者

形態・数量

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (嘉永二年五月二日～七月二〇日) (御小納戸頭取)

※〔御相統一巻〕(二) 四代藩主徳川慶勝の家督相統あり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (嘉永二年七月二日～一〇月晦日) (御小納戸頭取)

※〔御官位一巻〕(二) 四代藩主徳川慶勝の従三位左近衛權中将兼參議叙位任官あり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (嘉永二年十一月朔日～二月晦日) (御小納戸頭取)

※〔三村義兵衛御筒簞拝借一巻〕「西十一月鳥屋圓御葉御製葉一巻」あり。

尾三十三 〔尾州御留守日記〕

(嘉永三年正月朔日～同四年三月二二日) 御小納戸頭取

縦 七

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (嘉永三年正月朔日～二月二九日) 御小納戸頭取

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (嘉永三年三月朔日～五月一三日) (御小納戸頭取)

※〔源欽様御一周忌御法事一巻〕あり。源欽様は一二代藩主徳川慶藏のこと。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (嘉永三年五月一四日～八月一〇日) (御小納戸頭取)

※〔戊戌五月十三日 前大納言様御逝去一巻〕あり。前大納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (嘉永三年八月一日～九月二九日) (御小納戸頭取)

※〔入水村々窮民共江從御側御救被下方取扱一巻〕あり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (嘉永三年一〇月朔日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

第六冊 御留守日記〔尾州御留守日記六〕 (嘉永四年正月朔日～三月二二日) (御小納戸頭取)

第七冊 〔尾州御留守日記七〕 (嘉永四年正月二四日～三月二二日) (御小納戸頭取)

※〔御入国御待請一巻〕のみで構成。包紙に入った図面二袋の括り付けあり。①包紙上書「中御座之間御焼火之間於ゐて御年寄初御目見之席図等入」。図面四枚「中御座之間御焼火之間於ゐて御年寄初御目見之席図」「中御座之間於ゐて御靈前方江之御名代被仰付候席図」「中御座之間於ゐて御使被仰付候席図」「中御座之間於ゐて貞愼院様御簾中様利姫様御使御目見之席図」あり。②包紙上書「於焼火之間評定所式日出座之輩并加判之外万石以上御年寄初御目見之図等入」。図面二枚「例朝御目見之図」「於御夜据之間講釈之節之図」あり。貞愼院は一二代藩主徳川斉荘の正室猶姫のこと。利姫は斉荘の息女で浅野慶熾の正室。

尾三十三 〔尾州御小納戸日記〕

(嘉永四年三月一三日～八月二九日) (御小納戸頭取)

縦 九

第一冊 〔尾州御小納戸日記一〕 (嘉永四年三月一三日～三月二九日) (御小納戸頭取)

※〔源傳様十三回御忌御法事一巻〕「源順様御一周忌御法事一巻」あり。源傳様は一二代藩主徳川斉温、源順様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕（嘉永四年四月初日～四月一五日）（御小納戸頭取）

※「源欽様三回御忘御法事一卷」あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕（嘉永四年四月一六日～四月晦日）（御小納戸頭取）

※「御祭祀一卷」「熱田御社参一卷」「御入国ニ付上使被進候」卷」あり。図面一枚「御前講之図」の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕（嘉永四年五月初日～五月一五日）（御小納戸頭取）

※「三ヶ日御祝儀御能一卷」（御入国ニ付）あり。

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕（嘉永四年五月一六日～五月二九日）（御小納戸頭取）

※「御本丸御天守等御巡覽」卷」あり。

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕（嘉永四年六月初日～六月二九日）（御小納戸頭取）

※「御垣外江出御一卷」「鉄丸様御早世一卷」「鬼頭佐五郎母呼下一卷」あり。鉄丸は高須藩主松平義建の九男。鬼頭佐五郎は御徒格。

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕（嘉永四年七月初日～七月二四日）（御小納戸頭取）

※「源懿様七回御忘御法事一卷」あり。源懿様は二代藩主徳川齊荘のこと。

第八冊 〔尾州御小納戸日記八〕（嘉永四年四月二九日～七月晦日）（御小納戸頭取）

※大部分は「規姫様御様林一卷 附卒去其 追而貞壽院様ヲ奉称」の記事。規姫は高須藩主松平義建の正室。日記は七月二五日条から七月晦日条分を記載。

第九冊 〔尾州御小納戸日記九〕（嘉永四年八月初日～八月二九日）（御小納戸頭取）

※「上使一卷」（御朦中御尋）あり。書付二通「御作事請取書」（新御殿紅葉之間作事ニ付）の括り付けあり。

尾州御小納戸日記

（嘉永四年九月初日～同五年三月二日）

（御小納戸頭取）

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記二〕（嘉永四年九月初日～一〇月朔日）（御小納戸頭取）

※「定光寺御参詣一卷」あり。図面一枚「矢田河原打小屋并御透見場所一田之図面」の括り付けあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕（嘉永四年一〇月朔日～一〇月二九日）（御小納戸頭取）

※「船軍術御乗船ニ面御覽之一卷」あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕（嘉永四年一十一月初日～一十一月晦日）（御小納戸頭取）

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕（嘉永四年一十二月初日～一十二月二九日）（御小納戸頭取）

※「三村義兵衛御筒借一卷」あり。三村義兵衛は中奥御番格。

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕（嘉永五年正月初朔日～正月晦日）（御小納戸頭取）

※「津嶋江御早乗一卷」あり。

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕（嘉永五年二月初日～二月晦日）（御小納戸頭取）

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕 (嘉永五年閏二月朔日〜三月二日) (御小納戸頭取)
※「源順様三回御忌御取越御法事一卷」あり。源順様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

※「白鳥辺江被為成候一卷 附御早乗共」あり。図面二枚「元御小納戸役所向図」「嘉永五子 下御庭竹長押御茶屋御小納戸役所向図」の括り付けあり。

尾三十一 〔尾州御留守日記〕

(嘉永五年三月二日〜同六年三月一〇日)

御小納戸頭取

縦

四

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (嘉永五年三月二日〜七月二日) 御小納戸頭取
第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (嘉永五年七月三日〜九月晦日) (御小納戸頭取)

※「榮姫様御誕生一卷」あり。榮姫は一四代藩主徳川慶勝の息女。図面一枚「御高塀口方西矢米通通行之儀」付の括り付けあり。
第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (嘉永五年一〇月朔日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※「三村義兵衛御筒拝借一卷」あり。三村義兵衛は中奥御番格。
第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (嘉永六年正月朔日〜三月一〇日) (御小納戸頭取)

※「上御庭秋葉宮御修復一卷」あり。

尾三十六 〔尾州御小納戸日記〕

(嘉永六年三月一日〜同七年三月朔日)

御小納戸頭取

縦

九

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記一〕 (嘉永六年三月一日〜三月晦日) 御小納戸頭取
※領内の御成に関する図面の括り付けあり。

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (嘉永六年四月朔日〜四月晦日) (御小納戸頭取)
※「上使一卷」「召上り奇応丸御製葉一卷」あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (嘉永六年五月朔日〜五月二九日) (御小納戸頭取)
※「於御車寄御庭舞樂大奥締二而御覧一卷」あり。図面一枚「嘉永六丑丑五月四日 舞樂御覧御補理方図面」の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (嘉永六年六月朔日〜六月晦日) (御小納戸頭取)
※「御深井稻荷社御修復御遷宮一卷」あり。

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕 (嘉永六年七月朔日〜八月晦日) (御小納戸頭取)
※「御小納戸詰岩井鍛吉儀見習之節本役仕理相勤候年数勤役ニ結込之儀奉願候一卷」「金剛御珠数万松寺御宝蔵江相納候一卷」あり。

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕 (嘉永六年九月朔日〜九月二九日) (御小納戸頭取)
※「定光寺御参詣一卷」あり。

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕 (嘉永六年一〇月朔日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※図二枚(田付流百目筒車台之図)の括り付けあり。

第八冊 〔尾州御小納戸日記八〕 (嘉永六年二月朔日～二月晦日) (御小納戸頭取)

※「三村義兵衛御簡拝借一卷」あり。

第九冊 〔尾州御小納戸日記九〕 (嘉永七年正月朔日～三月朔日) (御小納戸頭取)

尾三六 〔尾州御留守日記〕 (嘉永七年三月二日～安政二年三月二日) (御小納戸頭取)

第一冊 〔尾州御留守日記一〕 (嘉永七年三月二日～三月二九日) (御小納戸頭取)

※「御庭預支配之者人数減方一卷」あり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (嘉永七年四月朔日～八月一五日) (御小納戸頭取)

※図面一枚「杉御屋敷之図」の括り付けあり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (嘉永七年八月一六日～九月二九日) (御小納戸頭取)

※「寛之助様御誕生一卷」あり。寛之助は二四代藩主徳川慶勝の長男。図面一枚「御下屋鋪広場広メ方図面」の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (嘉永七年一〇月朔日～安政元年二月晦日) (御小納戸頭取)

※図面一枚「杉御屋敷ニ御位牌所并物置御中間居小屋共補理方之図」の括り付けあり。一一月に安政改元。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (安政二年正月朔日～三月九日) (御小納戸頭取)

第六冊 〔尾州御留守日記六〕 (安政二年三月一〇日～三月二二日) (御小納戸頭取)

※「卯三月九日御簾中様御安産御女子様御誕生并御卒去一卷」「上御庭愛宕社御修復一卷」あり。御女子様は二四代藩主徳川慶勝の息女良幻院のこと。

尾三六 〔尾州御小納戸日記〕 (安政四年四月一日～同五年三月朔日) 御小納戸頭取 縦 七

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記一〕 (安政四年四月一日～五月晦日) 御小納戸頭取

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (安政四年閏五月朔日～七月二九日)

※「上御庭稲荷社愛宕社御修復一卷」「源懿様十三回御忌御法事一卷」あり。源懿様は二三代藩主徳川齊莊のこと。図面一枚(下御庭御作事場取建候ニ付)の括り付けあり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (安政四年八月朔日～九月晦日) (御小納戸頭取)

※「定光寺御参詣一卷」あり。図面一枚(西御殿御取毀跡明地ニ杉苗等植付之場所)の括り付けあり。

第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 (安政四年一〇月朔日～一一月晦日) (御小納戸頭取)

第五冊 〔尾州御小納戸日記五〕 (安政四年一二月朔日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

※「御近火等之節奥向之輩心得書但火事割」「三村義兵衛御簡拝借一卷」あり。三村義兵衛は中奥御番格。

第六冊 〔尾州御小納戸日記六〕 (安政五年正月朔日～正月二九日) (御小納戸頭取)

縦 六

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「已正月より杉御屋敷御払一卷」あり。図面一枚「杉御屋敷之図」(彩色あり)の括り付けあり。

第七冊 〔尾州御小納戸日記七〕 (安政五年二月朔日～三月朔日) (御小納戸頭取)

尾三六 〔尾州御留守日記〕

(安政五年三月二日～二月晦日)

御小納戸頭取

縦

三

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (安政五年三月二日～七月一日) 御小納戸頭取

※「中納言慶應卿様御隠居一卷」あり。図面一枚(新御殿御湯殿取払木端板並矢来取建)の括り付けあり。

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (安政五年七月一日～九月晦日) (御小納戸頭取)

※「御相続一卷」(一五代藩主徳川茂徳の家督相続)あり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (安政五年一〇月朔日～二月晦日) (御小納戸頭取)

※「御深井弁財天御社御修復一卷 御小納戸頭取」「三村義兵衛御筒拝借一卷」あり。

尾三七 〔尾州御留守日記〕

(安政六年正月朔日～一〇月一日)

御小納戸頭取

縦

五

第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 (安政六年正月朔日～二月二九日) 御小納戸頭取

第二冊 〔尾州御留守日記二〕 (安政六年三月朔日～五月二九日) (御小納戸頭取)

※絵図面一枚(巾下御門外御土居西之方広場三俣小屋等取建)の括り付けあり。

第三冊 〔尾州御留守日記三〕 (安政六年六月朔日～八月二九日) 御小納戸頭取

第四冊 〔尾州御留守日記四〕 (安政六年九月朔日～九月晦日) (御小納戸頭取)

※「上御庭秋葉宮御修復一卷」「新御殿御広敷御取建一卷」あり。「新御殿御広敷御取建一卷」に図面五枚の括り付けあり。

第五冊 〔尾州御留守日記五〕 (安政六年一〇月朔日～一〇月一日) (御小納戸頭取)

※「上御庭秋葉宮尊像御修作一卷」「御待請一卷」当秋御入国ニ付「御在国中御参詣御定」あり。「御待請一卷」に「御着城之節中御座之間おゐて御目見等被仰付候席図面四枚」として「三 中御座之間おゐて御壺前方江之御名代被仰付候席図」「四 中御座之間於ゐて御使被仰付候席図」「五 中御座之間おゐて貞慎院様御簾中様寿操院様御目見之席図」「六 中御座之間御焼火之間おゐて御年寄初御目見之席図」あり。

尾三八 〔尾州御小納戸日記〕

(安政六年一〇月二日～同七年正月晦日)

(御小納戸頭取)

縦

四

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記一〕 (安政六年一〇月二日～一〇月二九日) (御小納戸頭取)

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕 (安政六年一二月朔日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

※「定光寺御参詣一卷」「熱田御社参一卷」「御天守御巡覧一卷」「御入国上使被進候一卷」あり。

第三冊 〔尾州御小納戸日記三〕 (安政六年一二月朔日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

- ※「三ヶ日御祝儀御能一卷」「御下屋敷江被為成山王社御拝被遊候一卷」「霽御鷹野一卷」あり。
 第四冊 〔尾州御小納戸日記四〕 （安政七年正月朔日、正月晦日） （御小納戸頭取）
 ※「御乗船一卷」あり。

尾三三 〔尾州御留守日記〕

- 第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 （安政七年二月朔日、万延元年二月晦日） 御小納戸頭取
 ※三月に万延改元。

- 第二冊 〔尾州御留守日記二〕 （万延元年閏三月朔日、五月二九日） （御小納戸頭取）

- 第三冊 〔尾州御留守日記三〕 （万延元年六月朔日、八月二九日） （御小納戸頭取）

※「白木久歳家内引越一卷」「上御庭秋葉宮御尊躰御修復一卷 附御屋根御修復共」あり。白木久歳は御小納戸詰役懸。

- 第四冊 〔尾州御留守日記四〕 （万延元年九月朔日、一〇月二九日） （御小納戸頭取）

※「紫雪御製葉一卷」あり。

- 第五冊 〔尾州御留守日記五〕 （万延元年一〇月、十一月） （御小納戸頭取）

※「万延元年申年 御養君御養女一卷」のみで構成。御養君は一五代藩主徳川茂徳の養子元千代（慶勝三男、のち一六代藩主義直）、御養女は茂徳の養女道姫（慶勝息女）のこと。「中納言様御初元千代様江月並御取扱」「元千代様ち中納言様御初江月並御取扱」「元千代様ち年中御届品等伺」「元千代様御祠堂御拝儀」などを含む。

- 第六冊 〔尾州御留守日記六〕 （万延元年十一月朔日、十一月晦日） （御小納戸頭取）

- 第七冊 〔尾州御留守日記七〕 （万延元年二月朔日、二月晦日） （御小納戸頭取）

尾三三 〔尾州御留守日記〕

- 第一冊 御留守日記〔尾州御留守日記一〕 （万延二年正月朔日、文久元年二月晦日） 御小納戸頭取
 第二冊 〔尾州御留守日記二〕 （文久元年二月朔日、二月晦日） 御小納戸頭取

※「黒漆御紋附兩掛御葉簞笥入記 御膳番」あり。二月に文久改元。

- 第三冊 〔尾州御留守日記三〕 （文久元年三月朔日、三月晦日） （御小納戸頭取）

- 第四冊 〔尾州御留守日記四〕 （文久元年四月朔日、五月晦日） （御小納戸頭取）

※「源欽様御法事一卷 附御花献備」「元千代様御職一卷」あり。源欽様は二三代藩主徳川慶臧のこと。

- 第五冊 〔尾州御留守日記五〕 （文久元年六月朔日、七月晦日） （御小納戸頭取）

※「紫雪御製葉一卷」「源懿様御法事一卷 附御花献備」あり。

- 第六冊 〔尾州御留守日記六〕 （文久元年八月朔日、九月一五日） （御小納戸頭取）

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「柳原長栄寺境内ニ存命捨子一卷」あり。

第七冊

〔尾州御留守日記七〕

(文久元年九月一六日～九月晦日)

(御小納戸頭取)

※「元千代様御下向一卷」あり。そのなかに「元千代様御下向之儀諸留記六月廿四日以前之儀八日記ニ散乱いたし居候分頭書此所ニ書出し置候事」と記載あり。

第八冊

〔尾州御留守日記八〕

(文久元年一〇月朔日～一二月晦日)

(御小納戸頭取)

※「御官位御昇進被仰出候一卷」「紫雪御製葉一卷」「下御庭地藏堂屋根御修復に付遷仏一卷」あり。

尾三六〔尾州御留守日記〕

(文久二年正月朔日～一〇月二四日)

御小納戸頭取

縦 五

第一冊

御留守日記〔尾州御留守日記一〕

(文久二年正月朔日～二月二九日)

御小納戸頭取

第二冊

〔尾州御留守日記二〕

(文久二年三月朔日～三月晦日)

(御小納戸頭取)

※「歩兵銃一卷」「源順様御法事一卷 附御花献備」あり。源順様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第三冊

〔尾州御留守日記三〕

(文久二年四月朔日～七月二九日)

(御小納戸頭取)

第四冊

〔尾州御留守日記四〕

(文久二年八月朔日～九月晦日)

(御小納戸頭取)

第五冊

〔尾州御留守日記五〕

(文久二年一〇月朔日～一〇月二四日)

(御小納戸頭取)

※「真巖院様百五拾御忌御法事一卷」「御待請一卷」(大納言様御帰国ニ付)あり。真巖院様は五代藩主徳川五郎太のこと。

尾三七〔尾州御留守日記〕

(文久三年正月二一日～五月一七日)

御小納戸頭取

縦 四

第一冊

御留守日記〔尾州御留守日記一〕

(文久三年正月二一日～二月晦日)

御小納戸頭取

※図面一枚(杉股川道南通土居作事ニ付)の括り付けあり。「再御留守中但去ル十五日迄十八日迄之日記御逗留中ニ付別帳ニ成ル」とあり。

第二冊

〔尾州御留守日記二〕

(文久三年三月朔日～三月晦日)

(御小納戸頭取)

※「文久三年亥三月 貞慎院様・前御簾中様・御簾中様・元千代様・釧姫様・静姫様・時千代様・常丸様御登一卷」あり。図面三枚(前大納言様御間向御取建御地鎮ニ付、新御殿詰所御取建ニ付、御小納戸輪中図面)の括り付けあり。貞慎院は一二代藩主徳川斉朝の正室猶姫、前御簾中様は一四代藩主徳川慶勝の正室矩姫、御簾中様は一五代藩主徳川茂徳の正室政姫、元千代は茂徳の養子(慶勝三男)でのちに一六代藩主となる義宣、釧姫は斉朝の息女、静姫は慶勝の息女、時千代は慶勝の五男、常丸(常千代)は茂徳の二男。

第三冊

〔尾州御留守日記三〕

(文久三年四月朔日～四月二九日)

(御小納戸頭取)

※書付一通(御国恩冥加之為当春大納言様江差上候刀脇差ニ付)の括り付けあり。

第四冊

〔尾州御留守日記四〕

(文久三年五月朔日～五月一七日)

(御小納戸頭取)

※図面二枚(中御座之間北御庭内御書院附之御場所等ニ付)の括り付けあり。

尾三 共〔尾州御小納戸日記〕

(慶応四年正月二七日～七月四日)

(御小納戸頭取)

第一冊 御在国日記〔尾州御小納戸日記一〕

(慶応四年正月二七日～三月晦日)

(御小納戸頭取)

第二冊 〔尾州御小納戸日記二〕

(慶応四年四月朔日～七月四日)

(御小納戸頭取)

※図面一枚(誓詞次第書差出ニ付席図)の括り付けあり。四月二六日条に「従是御留守」とあり。

縦

二